

9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	始業式 給食始 委員会	安全指導 身体計測 (2-1,3年)	漢字 クラブ 身体計測 (2-2,4,5年)	計算 夏休み作品展(~10日) 身体計測 (1,6年)	水泳記録会	避難訓練 (引き取り訓練)
8	9	10	11	12	13	14
	保護者会 水曜時程 挨拶1	社会科見学 (6年) 夏休み作品展終	挨拶2 漢字 研究授業	挨拶3 計算	挨拶4 着衣泳 プール納め	
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	集会	挨拶5 漢字 研究授業	挨拶6 計算	挨拶7 移動教室事前健診 (6年)	
22	23	24	25	26	27	28
	秋分の日	箱根移動教室	箱根移動教室	箱根移動教室	箱根移動教室 親子給食(1年) 歯磨き指導(1年)	
29	30					
	歯磨き指導(5年) 社会科見学					

9月の生活目標

「しせいをただそう」

- ・字を大きくていねいに書こう
- ・鉛筆を正しくもち、せすじをのぼそう



南山小学校 学校だより

9月号

令和元年 9月2日
港区立南山小学校
校長 難波 明夫

より充実した学習と学校生活を目指します

校長 難波 明夫

子供の元気な声が、再び学校に戻ってきました。子供は長い夏休みに様々な体験や経験をしてきたことと思います。登校時に笑顔であいさつする子供の表情から、充実した夏休みを過ごしていたことが推察されます。改めて、各ご家庭のご協力に感謝申し上げます。

今年も盛夏でした。私は全国高校野球の観戦が大好きです。広い甲子園球場でプレーをする選手の攻守交替時の全力疾走や球に飛び付く姿、球場で応援をする観客の声援や拍手は、プロ野球の試合の時とその雰囲気異なります。高校野球選手のひとつひとつの所作、動作が全力であり、試合時間が短いのは、選手の全力プレーによるものと考えています。甲子園出場、全国大会優勝を目指した選手は、どんなにつらい練習にも耐え、自分とチームの夢と希望を叶えたことでしょう。

2学期も、本校は高校野球の選手同様、子供の夢と希望を叶えるべく意図的、計画的、継続的な教育活動をすすめていきます。合言葉は「どの子も伸びる 学びの南山小」です。教職員一同、より充実した学習や学校生活を目指してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

【じょうぶで明るい子】

あるプロ野球監督が伸びる選手に共通していることについて、次のように話しています。

- 1 明るい・・・その人の性格ではなく、チームが辛い時や苦しい時に声を出せる人
- 2 素直・・・監督やコーチの言ったことを素直に受け入れて、自分のものにできるような人
- 3 謙虚・・・相手を立てることができ、また素直で自分と違う意見なども受け入れ、相手を

選ばずに素直な態度で接する人

この3つの言葉の真意を大切に、心身のバランスがとれた子供を育ててまいります。

【よく考え最後までやりぬく子】

私が参加をしたスポーツ選手の講演会で、最後に小学生が「サッカー選手になるにはどうしたらいいですか」と質問をしました。私ならどのように応えようかと一瞬考え、悩みました。その選手は「それはサッカーを辞めないこと。続けること」と即答しました。参会者一同、納得しました。子供は、無限の可能性を秘めています。引き続き「チーム南山小」として学校と家庭、地域は十分な連携を図り、子供に夢と希望を持ち続けさせ、子供の自己実現に向けた支援をしてまいります。

【友だちとなかよく協力する子】

「ふわふわ言葉」は、相手から言われるとうれしい気持ちやがんばろうという気持ちになれる言葉です。ふわふわ言葉は、「ありがとう」「助かったよ」「気にしないでいいよ」「手伝おうか」「一緒に遊ぼう」などです。たくさん使いたい言葉です。

「ちくちく言葉」は、相手から言われると悲しくなったり、嫌になったり、言われたくない言葉です。ちくちく言葉は、「ばか」「そんなこともできないの」「死ね」などです。特に「死ね」という言葉は、絶対に使ってはいけません。「死ね」ということは、命がなくなるということです。たったひとつしかない命がなくなるというのは、とても悲しく、辛いことなのです。「ちくちくことば」は絶対に使いません。言葉遣いについては、各ご家庭で話し合ってくださいますようお願いします。

「ふわふわ言葉」が増えて、「ちくちく言葉」がなくなる学校にしていきます。

1学期末に実施しました児童と保護者アンケートの結果は、9月9日の保護者会の折に報告する予定です。

箱根夏季学園

5年担任

8月5日から7日まで箱根夏季学園に行きました。一人一人の成長がたくさん見られた2泊3日でした。行きのバスでは、バスレクを一人ずつ行い、皆で盛り上げて楽しみました。初めに訪れた、河口湖フィールドセンターでの溶岩樹型散策では、梯子を使って樹型（洞窟）の中に降りて見学しました。初めての体験に驚き、興奮していました。芦ノ湖キャンプ村ではバーベキューを行い、班ごとに協力して食材を調理し、おいしくいただきました。食後は、遊覧船からの景色を楽しみ、学園へ向かいました。夜は筈小学校と合同でキャンプファイヤーを行い、交流を深めることができました。



2日目は、浅間山登山からスタートしました。最後まで諦めることなく、全員が登り切り、頂上で全員で記念撮影をすることができました。子供たちは「きつかったけど楽しかった」と達成感に満ち溢れた様子でした。その後、森のふれあい館でクラフト体験を行い、思い思いのキーホルダーを作り上げ、形に残る思い出ができました。学園に戻る途中、家族や自分へのお土産を買いに行き「お父さんは〇〇が好きだからこれを買おう。」と家族のことを考えてお土産を選んでいる人もいました。この日の夜はレク係が準備したクラスレクを皆で楽しみ、非常に盛り上がりました。



3日目、いよいよ最終日です。筈小学校との合同での閉園式では、筈小学校の校長先生から「南山小はあいさつが素晴らしいですね」というお言葉をいただきました。合言葉にして頑張ってきただけに担任としてもとても嬉しく思います。学園を出発し、富士サファリパークへ向かいました。サファリパークでは、間近で見える動物たちに「かわいい!」「かっこいい!」と大興奮。そして、全員が無事、元気に帰校しました。

この3日間の協働生活の中で子供たちはあいさつや協力することを実践し、その大切さを学ぶことができました。また、一人一役あった代表での役目も全員がしっかりと果たし、自信につながったことと思います。ここでの経験を今後の学校生活でも存分に生かし、具体的行動で示せる5年生になってほしいと思います。この夏季学園に際し、保護者の皆様を始め、多くの方の御理解と御協力をいただきました。深く感謝申し上げます。



社会科や総合的な学習の時間から

3年担任

3年生になると、初めての学習がいくつかあります。そのひとつが社会科です。子供は、1学期に社会科で「学区内の町」「港区の町」について学習をしました。町を建物・交通・昔のもの・自然と4つの観点で調査をしたり、社会科見学を通して港区の特徴や名所をバスで巡ったりしました。事前に町について調べたり、その場所に行って体験をしたりすることを通して、子供は少しずつ自分たちが暮らす町についての理解や関心を深めました。

また、総合的な学習の時間では、社会科の学習を生かして安全マップを作成したり、安心・安全な過ごし方を自らで考えたりしました。友達も交流をしながら今までの学びや体験を共有し、共に協力をしながら新聞作りや発表に励みました。

これらの学習や体験を通して、子供が主体的に行動し、友達との学び合う機会をもつことができました。この経験を2学期にも生かしていけるよう、一人一人の気付きや発想を大切に、豊かな学びへとつなげていきます。



社会科「暮らしを支える水」の学習を通して

4年担任

4年生では、社会科で「住みよいくらし」を考える学習をしています。1学期には「暮らしを支える水」について、毎日の暮らしに必要な飲料水を供給する仕事がどのような仕事なのかを学習しました。水源の確保のために森林の保全を行うことや、ダム・浄水場の建設、維持などの事業は、地域の方々の協力のもと計画的に行われており、それらが健康な生活の維持や向上のために役立っているということを知ることができました。また、水の大切さを学ぶの一貫として「水道キャラバン・下水道キャラバン」の授業も受けました。映像を見たり、実験を行ったり、楽しく学ぶことができました。水道・下水道についての学習を通して、以前よりも水を大切にしている様子が多く見られるようになりました。今後も水の大切さを意識しながら生活してもらいたいと思っています。

2学期には「ごみのしまつと再利用」についての学習をしていきます。そして9月30には、江戸川清掃工場や中央防波堤埋立処分場へ社会科見学に行きます。これからも「住みよいくらし」についてさらに考えを深めていきます。

